

| | | | | | |
|--|--|------|---|----------------------|-------------------------------|
| 岐阜工業高等専門学校 | | 開講年度 | 平成30年度 (2018年度) | 授業科目 | 英語 A |
| 科目基礎情報 | | | | | |
| 科目番号 | 0160 | | 科目区分 | 一般 / 必修 | |
| 授業形態 | 講義 | | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 2 | |
| 開設学科 | 電子制御工学科 | | 対象学年 | 3 | |
| 開設期 | 通年 | | 週時間数 | 2 | |
| 教科書/教材 | 前期: コンパクト英語構文90活用ワークブック (数研出版) 後期: e-learning 教材『TOEIC 学習システム』、『新TOEIC TEST 出る順で学ぶボキャブラリー900』 (講談社)、『いきなりスコアアップ! TOEIC(R) テスト600 点英文法集中講義』、その他担当教員が適宜配布するプリント | | | | |
| 担当教員 | 菅原 崇, 清水 晃 | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| ①英文法の知識を深める ②語彙を増やす ③リーディング能力を高める ④ライティング能力を高める ⑤リスニング能力を高める | | | | | |
| ループリック | | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | | 標準的な到達レベルの目安 | | 未到達レベルの目安 |
| 評価項目1 | コミュニケーションに必要な英文法の知識を活用することができる。 | | コミュニケーションに必要な英文法の知識をほぼ活用することができる。 | | コミュニケーションに必要な英文法の知識を活用できない。 |
| 評価項目2 | コミュニケーションに必要な語彙の知識を活用することができる。 | | コミュニケーションに必要な語彙の知識をほぼ活用することができる。 | | コミュニケーションに必要な語彙の知識を活用できない。 |
| 評価項目3 | コミュニケーションに必要なリーディング能力を活用することができる。 | | コミュニケーションに必要なリーディング能力をほぼ活用することができる。 | | コミュニケーションに必要なリーディング能力を活用できない。 |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | | |
| 教育方法等 | | | | | |
| 概要 | TOEIC300 点以上獲得を目標に、英文法および語彙の知識を深め、英語コミュニケーション能力を高める。 | | | | |
| 授業の進め方・方法 | 後期の授業はe-learning教材『TOEIC 学習システム』、TOEIC 模擬問題、単語テストで構成されている。また各自適宜予習復習が必要となる。 英語導入計画: Documents | | | | |
| 注意点 | 後期の授業においては辞書、リスニングに必要なイヤホン、未知の単語熟語などをメモするノート (および筆記用具) を毎回必ず持参すること。持参しない場合は居眠りやよそ事などと同様「履修の資格なし」とみなす。 授業中行ったTOEIC 模擬問題の確認や単語の修得を家庭学習として毎回行い、次の授業に臨むこと。 学習・教育目標 (C-2) 70% (A-2) 30% | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| | | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 | |
| 前期 | 1stQ | 1週 | ガイダンス、It 中心の構文(1)、It 中心の構文(2) (ALのレベルC) | 英文法・英語構文・語彙を理解して覚える。 | |
| | | 2週 | 不定詞を含む構文(1)、不定詞を含む構文(2) (ALのレベルC) | 英文法・英語構文・語彙を理解して覚える。 | |
| | | 3週 | 不定詞を含む構文(3)、分詞を含む構文(1) (ALのレベルC) | 英文法・英語構文・語彙を理解して覚える。 | |
| | | 4週 | 分詞を含む構文(2)、動名詞を含む構文 (ALのレベルC) | 英文法・英語構文・語彙を理解して覚える。 | |
| | | 5週 | 関係詞を含む構文、否定構文(1) (ALのレベルC) | 英文法・英語構文・語彙を理解して覚える。 | |
| | | 6週 | 否定構文(2)、助動詞を含む構文(1) (ALのレベルC) | 英文法・英語構文・語彙を理解して覚える。 | |
| | | 7週 | 助動詞を含む構文(2)、仮定法を用いた構文(1) (ALのレベルC) | 英文法・英語構文・語彙を理解して覚える。 | |
| | | 8週 | 中間試験 | | |
| | 2ndQ | 9週 | 中間試験問題の解説と復習 (ALのレベルC) | 英文法・英語構文・語彙を理解して覚える。 | |
| | | 10週 | 仮定法を用いた構文(2)、接続詞を含む構文(1) (ALのレベルC) | 英文法・英語構文・語彙を理解して覚える。 | |
| | | 11週 | 接続詞を含む構文(2)、接続詞を含む構文(3) (ALのレベルC) | 英文法・英語構文・語彙を理解して覚える。 | |
| | | 12週 | 比較構文(1)、比較構文(2) (ALのレベルC) | 英文法・英語構文・語彙を理解して覚える。 | |
| | | 13週 | 譲歩構文、無生物主語を含む構文 (ALのレベルC) | 英文法・英語構文・語彙を理解して覚える。 | |
| | | 14週 | 間接疑問・同格・強調・倒置・名詞構文・その他 (ALのレベルC) | 英文法・英語構文・語彙を理解して覚える。 | |
| | | 15週 | 期末試験問題の解説と復習 (ALのレベルC) | 英文法・英語構文・語彙を理解して覚える。 | |
| | | 16週 | | | |
| 後期 | 3rdQ | 1週 | ガイダンス | | |
| | | 2週 | TOEIC練習問題 | | |
| | | 3週 | TOEIC練習問題解答ならび解説 | | |
| | | 4週 | TOEIC学習システム (ALのレベルA) | | |
| | | 5週 | 単語テスト (ALのレベルC) | | |
| | | 6週 | TOEIC学習システム (ALのレベルA) | | |
| | | 7週 | TOEIC学習システム (ALのレベルA) | | |

| | | | |
|------|-----|-----------------------|--|
| 4thQ | 8週 | 中間試験 | |
| | 9週 | 中間試験解説 | |
| | 10週 | TOEIC学習システム (ALのレベルA) | |
| | 11週 | 単語テスト (ALのレベルC) | |
| | 12週 | TOEIC-IP (要授業変更) | |
| | 13週 | TOEIC練習問題 | |
| | 14週 | TOEIC練習問題解答ならび解説 | |
| | 15週 | フォローアップ (期末試験解答解説など) | |
| | 16週 | | |

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

| 分類 | 分野 | 学習内容 | 学習内容の到達目標 | 到達レベル | 授業週 |
|-------|---------|--------------|---|-------|----------------------------|
| 基礎的能力 | 人文・社会科学 | 英語運用の基礎となる知識 | 聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。 | 3 | |
| | | | 明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 | 3 | |
| | | | 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。 | 3 | 後5,後11 |
| | | | 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 | 3 | 後2,後3,後4,後6,後7,後10,後13,後14 |
| | | 英語運用能力の基礎固め | 日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。 | 3 | 後2,後3,後4,後6,後7,後10,後13,後14 |
| | | | 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 | 3 | |
| | | | 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。 | 3 | |
| | | | 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。 | 3 | 後2,後3,後4,後6,後7,後10,後13,後14 |
| | | | 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 | 3 | 後2,後3,後4,後6,後7,後10,後13,後14 |
| | | | 母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。 | 3 | |
| | | | 実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。 | 3 | |

評価割合

| | 中間試験 | 期末試験 | 平常試験 | TOEIC-IP | 合計 |
|--------|------|------|------|----------|-----|
| 総合評価割合 | 200 | 200 | 100 | 50 | 550 |
| 前期 | 100 | 100 | 50 | 0 | 250 |
| 後期 | 100 | 100 | 50 | 50 | 300 |